

2020年度 特定非営利活動法人浦和スポーツクラブ通常総会 議事録

1 日時 令和2年6月14日(日) 15時00分～16時30分

2 場所 クラブハウス

3 出席

正会員 17名

出席 11名 (小野崎研郎、塩野潔、梶谷千恵子、小川貴、
清水恵二、遠山茂、金木貴子、内村久子、
木村曜子、片倉藍、栃川正年)

委任状 3名 (舟山勝明、大橋正樹、佐藤常雄)

正会員以外 1名 (小野崎さおり)

4 挨拶

小野崎研郎理事長より挨拶をいただいた。

5 議長選出

定款第28条により、出席した正会員の中から議長を選出し、小野崎研郎理事長が選出された。

6 議事録署名人選出

定款第32条2項に基づき、出席者の中から遠山茂氏、内村久子氏の2名を議事録署名人として選出した。

7 議 事

第一号議案 2019年度事業報告

第二号議案 2019年度決算報告及び監査報告

第三号議案 2020年度事業計画(案)

第四号議案 2020年度予算案(案)

第五号議案 役員の変更について

8 議事の経過概要及び議決結果

議事の開始に先立ち、定足数の確認を行った。

正会員数17名のうち、過半数以上となる14名の参加(出席11名、委任状出席3名)を得ていることから、総会が成立することを確認した。

第一号議案 2019年度事業報告

資料に基づき、小野崎理事長より2019年度の概要報告がなされた。
総論として2019年度の特徴的なできごとを小野崎理事長より報告がなさ

れた。

- ・総括表に基づき、クラブ事業ならびに関連事業への参加等について、月を追って簡単に説明がなされた。
- ・会員数について、800人を下回ったのは、2005年以来で、新型コロナウイルス禍の影響により2月末から活動を休止していて新規募集が行えていないことが推察される。
- ・プログラムの再開後、適切なタイミングで広報を行い、会員の募集を積極的に図ることが必要です。
- ・年度当初事業計画と成果について、全体としては順調にいった。スポーツ庁事業を契機に中学生のスポーツ環境の改善への取組みが進んだ。
- ・スポーツ鬼ごっこが家族を巻き込む形で広がりを見せ始めた。
- ・中学生のスポーツ環境向上プロジェクトは、大いに成果が得られた。
- ・中学生女子サッカー支援プロジェクトは、交流会の変則開催と教室の休止も方向性が整理できた。
- ・こどものスポーツに関する考え方の整理については未着手であった。
- ・パラ種目体験・交流事業については、予定のイベントが開催できた。
- ・クラブメンバーシップでは、サッカー生涯コース実質解散になったが再構築できている。
- ・総論として、サッカー指導者のモラル違反に端を発し、サッカー生涯コース会員の多くが退会しました。公共施設を利用して活動しているうえで守るべきルールやモラルに対する理解が得られていなかったことがとても残念なことでした。プログラムの現場のコントロールは指導者の方に依存せざるを得ないことから、指導者との情報共有、モラルの共有が極めて重要であることを再認識しました。
- ・駒場体育館の大規模改修による長期休館、秋の大雨による施設の長期封鎖、2月下旬からのコロナ禍と、活動に大きな支障が発生した年となりました。
- ・早稲田大学広瀬教授の提案で始まった本太中学校プロジェクトが、スポーツ庁のモデル事業に採択されたことで、以前から課題となっていた中学校部活動との連携について調査・検討ができたことは大きな成果でした。
- ・「第13回 キッズテニス大会 inS A I T A M A」が10月12日（土）開催で準備を進めましたが、大型台風のために中止となりました。

第一号議案については、第二号議案報告後にあわせて採決をした。

第二号議案 2019年度決算報告及び監査報告

資料に基づき、小野崎理事長より報告がなされた。

- ・収入総額は約 3,472 万円となりました。会費等の収入は約 3,109 万円となりました。昨年度より約 560 万円の減収となりましたが、もともと本年度予算は総収入 3,600 万円、会費収入を約 3,500 万円で見込んでいましたので、会費収入としては 400 万円の減少です。3月の休止が大きく影響しています。
- ・助成金は、埼玉県障がい者スポーツ協会による 10 万円（みんなのサッカー交流会分）の他、スポーツくじ助成（toto）がありますが、toto は振興センターの審査が遅れていますので今後変動することもあります。
- ・スポーツ庁事業は約 190 万円でした。
- ・支出は、約 3,594 万円で、予算の 3,446 万円よりも約 148 万円多くなりましたが、これは予算立案時点でスポーツ庁事業費を見込んでいなかった分がありますので、各支出項目が予定よりも膨らんだものではありません。また、スタッフや指導者の皆さんの急激な収入減を防ぐために、休業手当をお支払いしています。（当初、緊急雇用安定助成金の対象になるとの説明を受けていましたが、申請時になり対象外とされました）
- ・書面により、監査報告がなされた。

以上の報告後、第一号議案、第二号議案について、出席者全員の賛成により承認を得た。

第三号議案 2020年度事業計画

資料に基づき、小野崎理事長より年間事業計画について提案・説明がなされた。

■ 会議及びプログラムについて

- ・ 理事会は原則毎月行う。
- ・ 4月5月は提案のとおり実施済み
- ・ 6月23日(日)きた！Urawa フェスタ
- ・ 7月27日(土)実験理科教室
- ・ 8月31日(土)に浦和駒場体育館で、みんなのスポーツ交流会を実施し車椅子バスケット、フラッグフットボールなど実施予定。
- ・ 9月21日(日)に浦和駒場体育館で、みんなの健康フェア
- ・ 10月12日(土)に浦和駒場体育館で、第13回キッズテニス大会 in SAITAMA
- ・ 12月21日(土)にサイデン化学アリーナで、女子サッカー交流会

- ・2月下旬に埼玉スタジアム 2002 で、みその SCC・障がい者サッカー団体と協力してみんなのサッカー交流会を実施する。
- ・スポーツプログラム、スタジオプログラムは資料のとおり実施

■クラブ全体として

- ・基本的な考え方は、自主自律で会費をベースとして会員の中で物事を決めていくことは創立当初から大切にされていることなので従来通り踏襲していく。
- ・持続継続という点では、運動は定期的に行うことが大切なので、毎週、毎月、毎年継続していけるようにする。
- ・クラブは互助組織なので、地域が良くなることでクラブが良くなるというふうに考える。
- ・目指すところは、子どものスポーツ環境、大人のスポーツ環境、シニアのスポーツや運動環境の充実を目指す。
- ・取組として、ほかにない受け皿を用意し、使える場所を増やす活動や地域とつながる活動に取り組む。

昨年度からの継続プロジェクトとして中学生のスポーツ環境向上プロジェクト、中学女子サッカー支援プロジェクト、インクルーシブ推進プロジェクトなどスポーツ環境の改善に向けた取り組みを進める。

通常事業の継続に向けた仲間づくり、広報PR、指導者の確保に取り組む。

(1)中学生のスポーツ環境向上プロジェクト

主に本太中学校との連携により、以下の事業を実施し中学生のスポーツ環境向上のモデルケース構築につなげる。なお、2019年度運動部活動改革プラン（スポーツ庁）の採択が決定（5/31）したため、この予算も活用して実施する。

①部活動改革事業

部活動と地域スポーツとの新たな連携の形を検討し、できるところから実行していく。この取り組みを進めながら、地域の人材のネットワーク化もはかっている。

②コンディショニングサポート事業

- ・協議会開催（本太中学、浦スポ、広瀬教授、地域の専門家、市教育委員会（オブザーバー参加））
- ・コンディショニング調査（問診、体組成測定等）
- ・コンディショニング講習会開催（栄養、休養、リハビリ等）

③部活スタートアップ講習会

昨年度と同様にバドミントン講習会を実施する。

④指導人材ネットワーク

部活サポートの拡大にむけて、地域の指導人材のネットワークと掘り起こしを行う。

(2) 中学女子サッカー支援プロジェクト

昨年度までの取組みをベースに、市内の環境改善がさらに進むよう
に取り組み、交流会の開催、原山中、常盤中等との連携、その他の
クラブとの連携、呼びかける。

(3) 子どものスポーツに関する考え方の整理（2018年度未着手・再掲）

(4) インクルーシブ推進プロジェクト（パラ種目交流・体験）

- ・「誰でもJOIN」を推進するため、関連団体と連携して、体験
会や交流会を開催する。
- ・8/31にみんなのスポーツ交流会を開催する。
- ・2月下旬にみんなのサッカー体験会（第3回）を開催し、今年度
は連携する障がい者サッカーの種類をさらに増やす。

(5) 環境整備プロジェクト

スポーツをする場の確保、改善のため、地域の様々な団体・機関と
連携して取組む。

第三号議案について、第四号議案提案・説明後に採決された。

第四号議案 2020年度予算(案)

資料に基づき、小野崎理事長より予算案の提案があった。

- ・スポーツ庁 2019年度運動部活動改革事業の採択通知が5月31日
(金)に来たため、委託費がこの予算案に反映していない。スポーツ
庁の事業は、清算方式のため収支結果に大きな影響を与えることは
ない。
- ・今年度の会費収入は、概ね3496万円である。
- ・助成金として、totoの84万円があるが、これはパラスポーツ関係
と浦和スポーツクラブのリーフレット作成にかけるものである。
- ・用具販売は、サッカー広場のユニフォームで買った分業者に出てい
くものであり、浦和スポーツクラブの利益にはならないものである
が収入として計上してある。
- ・前年決算との比較では、収入合計が約400万円ほど減少している。
これは、浦和駒場体育館への派遣職員が中途退職したためと浦和駒
場体育館改修工事により11月からのプログラムがなくなる二つの理
由のため減収になる。
- ・支出合計は3446万円で、約160万円(約4%)の黒字が見込まれてい
る。

以上の提案・説明後、第三号議案・第四号議案について、出席者全員の賛成により承認を得た。

第五号議案 役員の変更について

資料に基づき、小野崎理事長から提案・説明があった。

年度途中で石井亮二理事より、理事辞退の申し出があり退任されたため、下記のとおり補充せずに13名の体制で運営する。

■理事（任期 2019～2020年）

- | | | | |
|----|-------|----------------|-------|
| 1 | 小野崎研郎 | （サッカー 一般会員） | ／理事長 |
| 2 | 塩野 潔 | （医師） | ／副理事長 |
| 3 | 梶谷千恵子 | （テニス指導者） | ／副理事長 |
| 4 | 小川 貴 | （事務局長） | ／副理事長 |
| 5 | 遠山 茂 | （サッカー SS広場指導者） | |
| 6 | 清水 恵二 | （サッカー 一般会員） | |
| 7 | 内村 久子 | （テニス指導者） | |
| 8 | 木村 曜子 | （テニス指導者） | |
| 9 | 金木 貴子 | （フィットネス指導者） | |
| 10 | 舟山 勝明 | （卓球指導者） | |
| 11 | 片倉 藍 | （クラブマネジャー） | |

監事

- | | | |
|---|-------|------------------|
| 1 | 三戸 一嘉 | （前県体育協会副会長兼専務理事） |
| 2 | 柴崎 栄一 | （弁護士） |

以上の提案・説明後、第五号議案について、出席者全員の賛成により承認を得た。

以上をもって、全ての議事を終了し散会した。

以上、この議事録が正確であることを証します。

令和2年6月15日

議 長 印

議事録署名人 印

議事録署名人 印